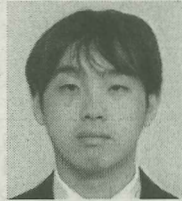


# 不動産学の魅力

明海大学 不動産学部

第117回



小川 智明  
不動産学部  
4年

北海道函館市は、歴史や文化があるのか調べた。

北海道の玄関口として栄えてきた土地である。だが、現在の函館は市民の人口流出の問題を抱えている。市は2023（令和5）年6月という。函館市によれば、近年、転出超過が続いており、特に10代後半から30歳前半にかけての若年層の転出超過が顕著である。その要因は、若者が高校や大学卒業後に市内にとどまらず、進学や就職を機に市外に転出していることだと考えられている。

## 北海道函館市のまちづくり

### 定住・移住を進める取り組み

に「人口減少対策本部」を設置し、移住・定住の促進、子ども・教育への支援、しごと創出といった政策を進めている。

ここは、衣服や日用品、子ども向けの商品を扱う店舗が揃っている。しかし、残念なことに市民の生活に必要な家電製品店などがないという意見も市民から出ており、市民のニーズが全て満たされているというわけでもないようだ。

冒頭に述べたように、函館市には文化や歴史などの魅力的な観光資源がある。市の政策としても、観光に

関しては具体的な数値目標が詳しく定められているようである。観光という市外からの来訪者に魅力的なまちづくりを進めるとともに、現在住んでいる市民の利便性や住みやすさの向上、若者の就職支援なども一層強化していくことが必要だろう。函館の観光資源を生かしながら、市民の定住や移住に繋がる取り組みが、行政と民間の協力のもとで今後一層進められるとよいのではないかと考える。

【教員コメント】  
函館市は「若い世代をはじめ多くの方に選ばれるまちになるために、就職、子育て（中略）等の人生の節目における効果的な施策を実施する必要がある」として、雇用の創出等に取り組みされている。他の地方都市にとっても施策の効果が期待される。

また、函館市には、市民、特に若者のニーズに応えるような大型商業施設が不足しているといった声もある。そこで私は、函館市において、人口流出を抑制するためにどのような取り組みがなされている

育て世帯が地域と触れ合いながらま

（西村愛）